

2012年6月27日

ミズノトラッククラブ 室伏広治 ハンマー投げシューズ

ミズノでは、7月27日より開催される第30回オリンピック競技大会（イギリス・ロンドン）の陸上競技男子ハンマー投げに出場する室伏広治の雨天用のハンマー投げシューズを開発しています。

ロンドンは雨が多いと言われます。現在、濡れたハンマーサークルに対応する雨天用ハンマーシューズの開発に取り組んでおり、この度ロンドン五輪に向けたシューズが準備できました。これにより、ロンドン五輪で室伏広治は、状況に応じ従来からのシューズと今回の雨天用のタイプで臨むことになります。

このハンマー投げシューズに関しては更により良いものを追求し開発を継続しています。ロンドン五輪の本番まで改良を重ね、仕様など変更になる可能性があります。



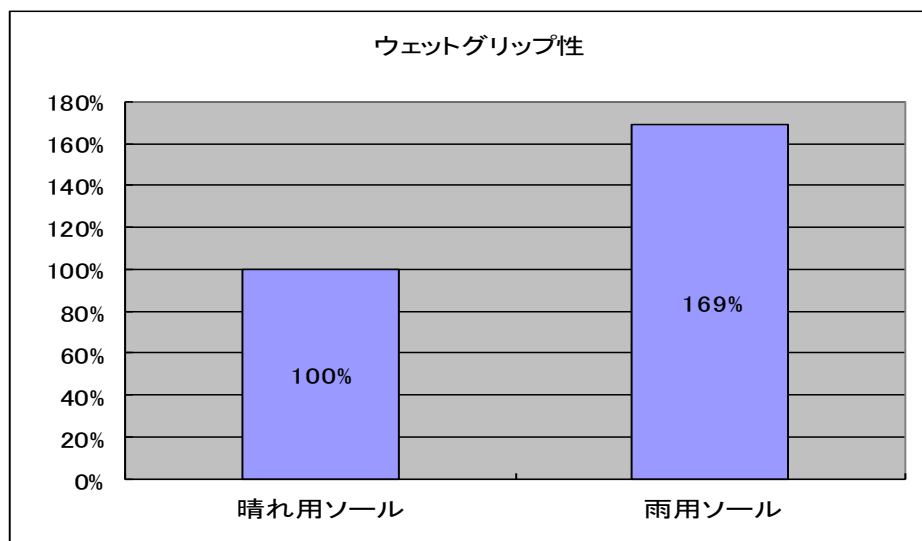
室伏広治選手 雨天用シューズ

●室伏広治 雨天用シューズの特長

雨が降るとソールとサークルの間に水が介在し、グリップ性が極端に低下します。また、サークルの凹凸、雨量の強弱、表面に付着・浮遊する埃、気温など、様々な要因によりソールとサークルの状態は変わります。雨天時のウェットな状態でグリップ性を維持する為には、サークルとソールの間の水を排除し、ソールとサークルの接地面積を広くする、ソール素材自体の粘着性を高めるといったことが必要です。

今回の雨天用シューズは、新開発のゴム素材を使用したラバーソールで、このゴム素材は従来より硬度が柔らかく弾力性に富んでいます。ハンマー投げは回転に伴い体重移動を行います。この柔らかい新開発のゴムはこの過程でソールとサークルの間の水を排除することで、接地面積を広くすることができます。またこのゴムは従来より粘着率も高いため、グリップ力が高くなります。

これらのことにより、雨天時の場合は、従来のハンマーシューズ（晴れ用）に比べ今回のシューズはグリップ力が約70%アップしています。



雨天と晴れ用のグリップ力比較（従来の晴れ用ソールを100とした場合）

●室伏広治 シューズ

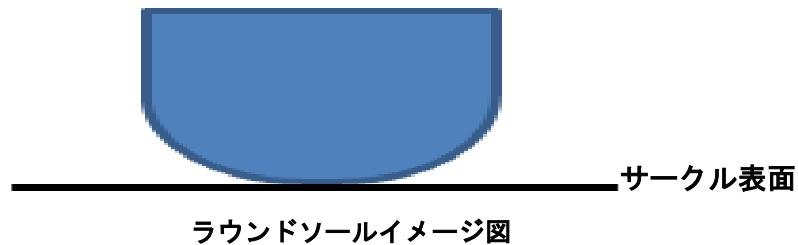
今回の雨用シューズではゴムソールの硬度を変えていますが、その他の仕様に関しては従来のモデル（晴れ用）と同じです。



室伏選手のハンマー投げシューズ

<ソール形状>

スムーズな体重移動に合わせて、アウトソールが点で地面に接地する丸型のラウンドソール



<アッパー素材>

強度の高い三軸織物をベースに、軽量性と耐久性に優れたカンガルー革、より柔軟性に特長ある人工皮革を使用しています。また、シューレース（靴紐）には防爆シートにも使用される非常に丈夫な素材を使用しています。

<カラー>

従来からのホワイト×ブルーに加え、今回のロンドン五輪向け、ミズノのロンドン向け統一カラーである紫を基調としたシューズも晴れ用、雨用ともに用意しています。

<雨用シューズと晴れ用シューズの比較>

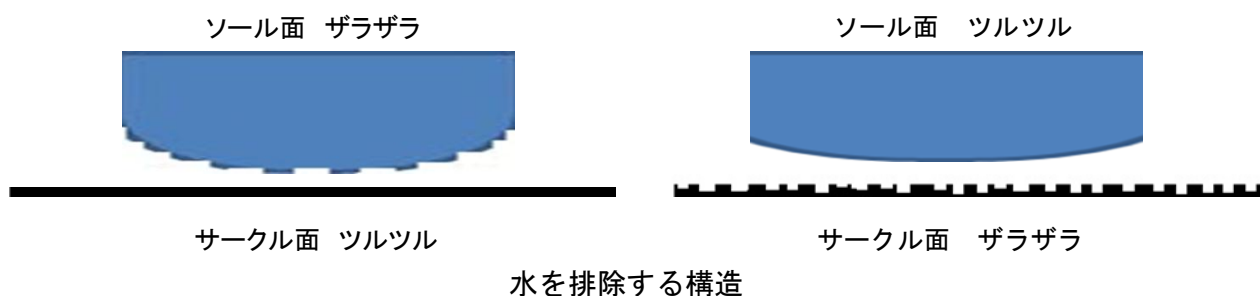
	雨用シューズ	晴れ用シューズ
アッパー	<ul style="list-style-type: none"> ・ベース：三軸織物 ・トゥ部分：人工皮革（スウェード） ・ヒール部分：天然皮革（カンガルー） 	
シューレース	ダイニーマ	
カラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイト×ブルー ・パープル×イエロー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイト×ブルー ・パープル×イエロー
ソール形状	ラウンド形状	
ソール硬度	低い	高い
ソール水分排除	高い	普通
ソール接地面積	広い	狭い
使用想定温度	低い	高い

雨用シューズと晴れ用シューズの比較

<今後の開発>

雨天時にグリップ力を高めるためには、接地ソールとサークルの間の水を排除することが重要です。

ソールとサークル、両方の表面が比較的ツルツルの場合、その間に水の膜が生じ、これがグリップ力を弱める原因となります。サークル表面がツルツルな場合はソール表面をザラザラにすることで、その間で水を排除する事が出来ます。逆にサークル表面が多少ザラザラの場合にはソール表面はツルツルでも水を排除できます。ソール、サークル両方の表面がともにザラザラだと、接地面積が少なくなり、グリップ力の低下に繋がります。（下記）



ミズノでは、ゴムの硬度や材料の違いに加えて、ソール表面の意匠の違うものなどの検証も既に行っており、雨だけでなく、様々なサークルの状態に対応出来るようにさらに開発を進めています。

●本人のコメント

「雨対策の取組みは、バイクのレースからヒントを得てその必要性を感じました。
この開発は、ミズノと共にチャレンジしています。ロンドン本番まで会社のスタッフの力を借りて万全の準備で臨みたいですよ」

(マスコミのお問合せ先)

東京広報課 澤井・木村 TEL: 03-3233-7037

大阪広報課 高橋・木村 TEL: 06-6614-8373

(ユーザーのお問合せ先)

ミズノお客様相談センター  0120-320-799

* ミズノ・インターネット情報は <http://www.mizuno.jp>